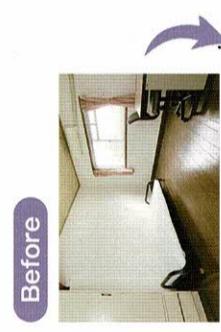


大成ユーレックに工事をお任せいたいたオーナー様を訪ね、さまざまなお話を伺います。

男子寮の最上階を
女子専用フロアに
リニューアル



首都圏の大学・専門学校に通つ多くの学生たちを受け入れている『久敬社塾』。この春、140年以上の歴史の中で初めてとなる女子学生受け入れのため、リニューアル工事を実施されました。工事の経緯や、新たな環境を迎えるにあたつての想いなどを、塾監を務める山崎様ご夫妻に伺いました。



大タイプの居室を2つのバスルームと
広々とした脱衣スペースにリフォーム。



階段から3階への入口に
オートロック付きの扉を
新設。

DATA	
構造	壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造
地上3階建/学生寮	
完成年月	2021年1月
設計・監理	大成ユーレック株式会社一級建築士事務所

受けられるのは士族の子弟のみという時代に、『耐恒寮』は女子学生の入学も認める先進的な方針を持つていました。その後1年余りで高橋是清は東京へ戻りましたが、熱心な学生たちが後を追つて上京。旧唐津藩の小笠原家当主・小笠原長行公の屋敷の一室で「久敬社」を創立し、数年後には寄宿舎「久敬社塾」も誕生しました。そして何度かの移転の後、1966(昭和41)年に現在の地へ。その際の新築工事を弊社にお任せいただきました。

当初は唐津出身者のみを受け入れていましたが、数年前より全国から寮生を募集。さらに、2021年春からは女子学生の受け入れも開始しました。これを機に、共用棟3階を女子学生専用フロアにするためのリニューアル工事を実施。「何社かの建設業者を比較検討しましたが、決め手になつたのはやはり信頼感だと思います。大成

ユーレックさんには新築・大規模改修ともお世話になつていて、建物の詳細をよく把握してもらっています。工事のスピード感やクオリティ、アフターケアの対応力など、大手企業ならではの安心感がありました」と山崎様。

安全を守るオートロック扉と ゆったりバスルームを新設

女子学生の受け入れにあたり、最

も重視されたのはセキュリティでした。3階入口には、スマートフォンや交通系ICカードで開錠できるオートロック付き扉を新設。さらに共用棟エントランスにもオートロックが追加されました。また、大タイプの居室をリフォームし、2つのバスルームと洗面化粧台、脱衣スペースを新設。さらにトイレをウォシュレット付きに替え、全自動式洗濯機を2台

設置し、快適性を向上させました。

春から新たな歴史の1ページが始まる『久敬社塾』。ご夫妻が今後について語つてくださいました。「『久敬社』には『学ぶ学徒、飛躍の学徒を育てる』という理念があるので、時代が変わつてもそれは大切にしていきたいですね。今後は男女の別なく、協力して生き抜いていける若者を育てていいくことが、我々の責務だと思ってします。そしてこんな時代だからこそ、コミュニケーションの大切さを知つてほしいです」(山崎様)。「女子学生を受け入れる設備は整いました。今後は学生たちが健やかにのびのびと過ごせるより良い環境をつくつけていただきですね」(桂子様)。



談話室(上)、和室(中)、食堂(下)と、入居する学生たちが集い、くつろげるスペースが充実。塾監を務める山崎様ご夫妻を含め、皆が家族のように日常的にコミュニケーションを取り、親睦を深めている。



公益社団法人 久敬社 塾監
山崎 信也 様

女子学生受け入れのため 3階を女子専用フロアに

学生たちに安全・快適な住環境と、栄養バランスがとれたおいしい食事をリーズナブルに提供する『久敬社塾』。敷地内には、共有スペースを有する共用棟と3階建ての寮生棟、テニスコートやまかない棟があります。現在、『久敬社塾』を厳しくも温かく見守るのが、塾監を務める山崎様と奥様の桂子様。山崎様はご自身も『久敬社塾』のご出身です。

『久敬社塾』のルーツは1871(明治4)年の佐賀県唐津市に遡ります。当時、唐津藩は人材育成に注力し、唐津城内に英語学校『耐恒寮』を創設。後に大蔵大臣や第20代内閣総理大臣などを歴任した高橋是清を英語教師として抜擢しました。十分な教育を



塾監の山崎様ご夫妻と弊社営業担当の堤。